

## 災害時下水直結式仮設トイレ（通称：災害用ハマッコトイレ）について

丸山台小学校に設置された「災害時下水直結式仮設トイレ（通称：災害用ハマッコトイレ）」についてお知らせいたします。

横浜市では、地域防災拠点等に公共下水道に直結した仮設トイレの整備を進めています。2020年度、丸山台小学校にも設置されました。

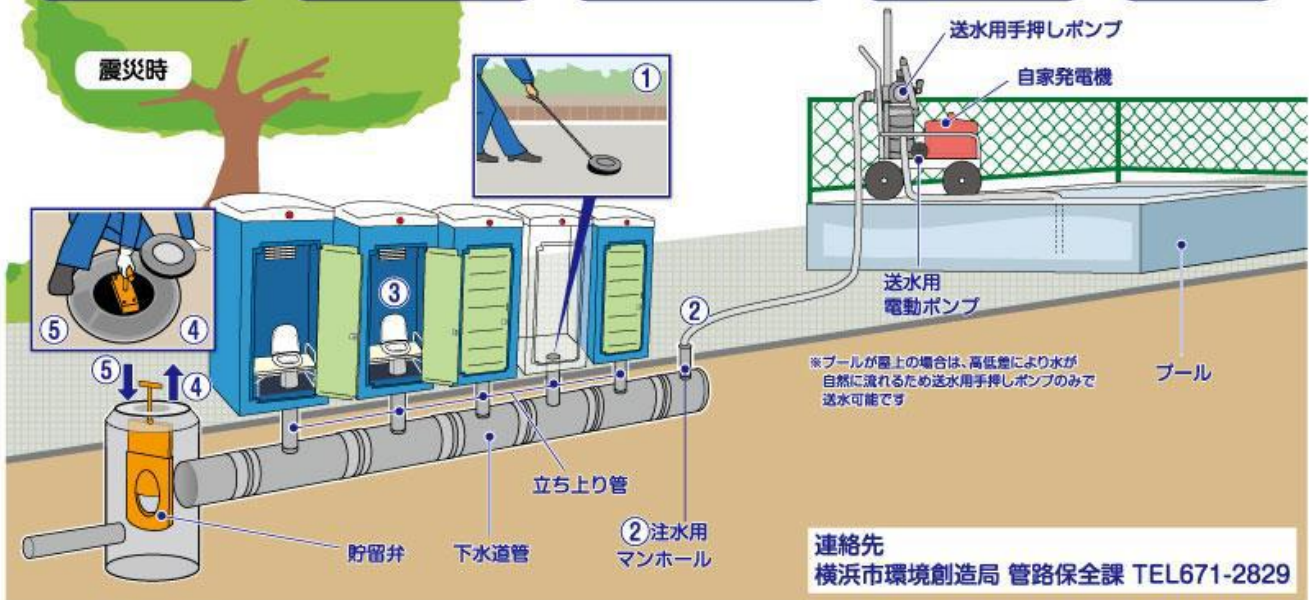
# 災害時下水直結式仮設トイレ案内

ここには、仮設トイレ用下水道管が設置されています

### 使用方法

- ① 立ち上り管の蓋をはずし、仮設トイレを設置する  
※蓋をあける工具は防災倉庫に保管
- ② 注水用マンホールから下水道管に水を貯める  
※プール水・水道水を活用/約800ℓ  
注水用マンホールから管の半分程度貯まった事を確認
- ③ トイレが使用可能になる  
必ず、下水道管に水を貯めてから使用  
※貯めた水が、トイレからの汚濁やペーパーを溶解し、排水しやすくします
- ④ 約500人使用したら貯留井をあげ、排水する  
※1日1～2回程度/一気に排水
- ⑤ 下水道管が空になったら貯留井を閉める

②からの工程を繰り返す



市役所HP には、次の特徴があげられています。

### 1. 高い耐震性

仮設トイレ用の下水道管は耐震性の高い管を採用しています。

### 2. 衛生的

下水直結式仮設トイレは、使用後に直接下水道に流すことができ衛生的です。

### 3. バリアフリー設計

設置する仮設トイレのうち1台は障害者の方でも安心して使用できるように設計されています。また、すべての仮設トイレで入口の段差がない洋式トイレを採用していますので、高齢者の方も安心して使用していただけます。

#### 4 .高い節水効果

通常の水洗トイレの排水には1回8ℓ～10ℓの水が必要です。この下水直結式仮設トイレでは約500回使用後に800ℓで排水しますので、1回当たりの水使用量は1.6ℓ程度となり、通常の水使用量の5分の1から6分の1程度で排水できます。

丸山台小学校の場合、校庭の朝礼台が置かれるあたりに下水道管が設置されており、排水用の水は、校舎屋上のプールの水を使用いたします。上記記載の説明図に小さく記載がありますが、丸山台小学校ではプールから手動のポンプで送水いたします。グラウンドに下水管が設置されているため、トイレ排水用等のマンホールは、地面より10cm程度下に埋めてあります。従って、災害時にトイレを設置する場合、まず、マンホールを掘り出す必要があります。並行して、グラウンド脇にある、倉庫からトイレの上屋・便器等を出し、組み立てます。また、屋上に行き、ポンプとホースの設置を行い、マンホールに繋ぐという作業が出てきます。

今年度、防災拠点訓練で自治会会員の皆様方にも種々お手伝いをいただきながら、ハマッコトイレ設置訓練を行いたいと協議してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症ため、訓練も行えない状況になっています。新型コロナウイルス感染症の終息後に訓練の項目に入れ、実施したいと思っておりますので、よろしくご協力いただきますようお願いいたします。

なお、丸山台小学校防災備蓄倉庫が非常に手狭ですので、学校にご協力をいただき、2階の教室をお借りすることができました。今後、1階の倉庫とともに利用する予定です。新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、自治会活動も出来ない状況が続いておりますが、状況が好転した後は、一番に防災関係の活動を再開したいと思っております。

以上、よろしくお願いいたします。

下水直結式仮設トイレ～使用方法の動画

<https://youtu.be/gRZvrLlJTdc>（外部サイト）

下水直結式仮設トイレ～送水用ポンプの使い方の動画

<https://youtu.be/gEKMbQTTacA>（外部サイト）

その他、丸山台小学校・丸山台中学校で備蓄している食料の入れ替えを行うとともに、今年度新たに段ボールベット5セットずつが納められました。